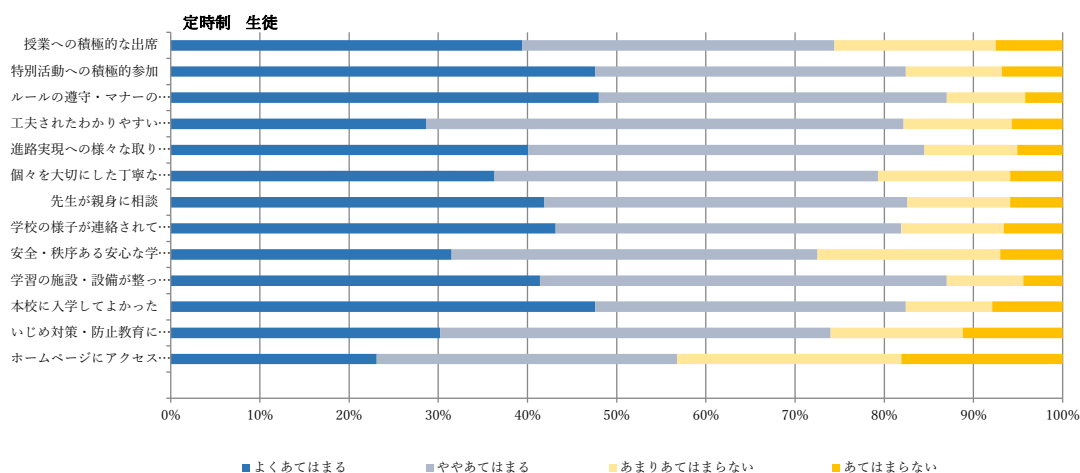


令和2年度 学校評価結果について

1 生徒アンケートから

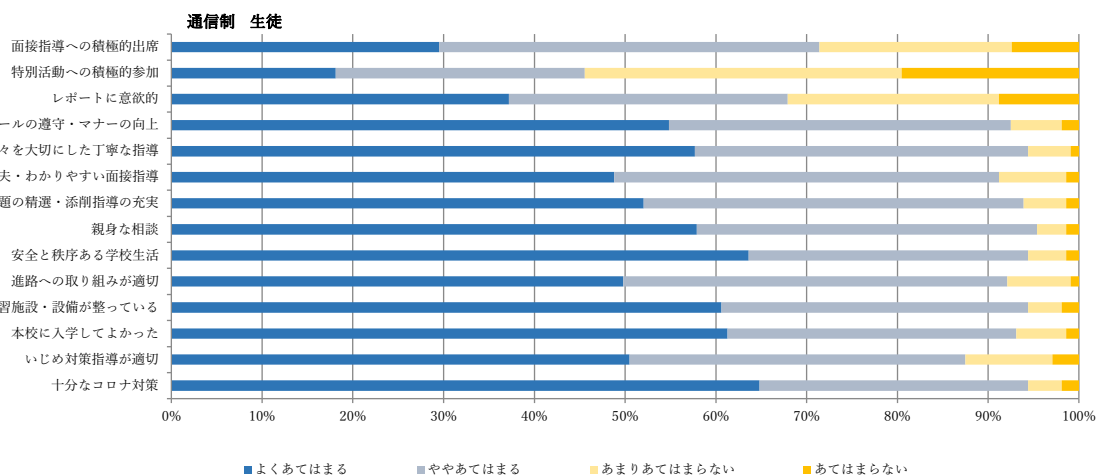
(1) 定時制

「よくあてはまる」あるいは「ややあてはまる」という肯定的な評価が、13項目中8項目で80%以上という高い割合で安定している。特に「学習の施設・設備が整っている」「ルールを遵守し、マナーの向上に努めている」の項目は、87%の生徒が肯定的な評価をしている。また「先生が親身に相談に応じてくれる」「進路実現のために様々な取り組みが行われている」「わかりやすい授業が行われている」といった生活・学習指導に関わる項目の肯定的な評価はいずれも80%を超えており、生徒にとって良い教育環境が実現していると考えられる。「本校に入学して良かった」についても80%以上の生徒が肯定的な評価しており、引き続き個を大切にされた指導に努めていきたい。一方、「ホームページにアクセス」の項目は、肯定的な評価が56.8%で、他に比べると低い結果となっている。ホームページには学校生活に関わる重要な情報が発信されているので、アクセスを促すような指導を引き続き行っていきたい。



(2) 通信制

肯定的な評価が、4項目を除いた全ての項目で90%以上と非常に高い。肯定的な評価が70%を切っている項目のうち、「レポートに意欲的」(67.9%)については、昨年度(60.1%)と比べれば向上しているもので、指導の効果が現れているといえよう。一方「特別活動への積極的参加」(45.5%)は昨年度(50.0%)と比べ下がってしまった。これは、コロナウイルス対策で年度前半の特別活動に関わる行事が中止となったことによる影響もあると思われる。また今回、コロナウイルス対策の項目を新たに加えたが、90%以上の生徒が肯定的な評価をしている。「本校に入学して良かった」の項目では肯定的な評価が93.1%と極めて高い数値を示しており、総じて生徒にとって良い環境が実現していることがわかる。



2 保護者アンケートから

ほぼ全ての項目において、肯定的な評価が80%を超えていることから、定時制・通信制の特色を踏まえた学習指導・進路指導・生徒指導には、おおむね理解が得られていると考えられる。特に、定時制・通信制とも、保護者との面談・連携などの項目において肯定的な評価が90%以上となっており、学校に対する信頼の高さがうかがえる。また通信制で新たに追加したコロナウイルス対策の項目でも、非常に高い評価(96.9%)となっている。

これに対して、肯定的な評価が80%を下回っている項目は、定時制では「いじめ対策・防止教育が適切」(65.6%)と「進路指導の取組が適切」(79.3%)である。これらについては、本校では組織的かつ適切に実施しているが、それが保護者側にうまく伝わっていない可能性がある。このことは、「わからない」という回答が前者の項目では24.9%、後者では13.1%と、他の項目に比べて高い数値であることからもうかがえる。今後は保護者に対しての説明の工夫・改善が課題である。

一方、通信制で肯定的な評価が80%を下回っている項目は「学校行事に参加したい」(66.3%)と「家庭で子供とよく話す」(79.0%)である。しかし、これらの項目は昨年度(前者が62.2%、後者が73.2%)と比べれば向上しているため、今後も向上に向けての取組を継続して行っていきたい。

なお保護者アンケートの回収率は、生徒の回収率と比べ著しく低い。保護者の意向や関心等を正確に把握するためにも、回収率を高めるための方策を考える必要がある。

総じて本校の教育活動に対しては、生徒同様に保護者にも支持されており、学校の設置理念との合致が認められる。今後、さらに理解を得られるように、教職員及び保護者が一体となって生徒たちに向き合うよう努めながら教育活動を展開していきたい。

